

吉野作造記念館だより

<編集・発行> 吉野作造記念館 (古川市福沼一丁目2番3号 TEL 23-7100)

井上ひさし名誉館長、 デモクラシーを語る

私が出た仙台一高の前身は宮城県尋常中学校です。在学中に初代の校長が大槻文彦で、先輩に吉野作造と真山青果がいるということを何回も教わりました。そんなせいもあっていまでもお二人の仕事が気になっています。吉野作造だったらこの場合どう答えるか、ということに折に触れ考える。そういうふうな気になって生きています。

吉野作造が一番大事にしていたのは、民主主義、民本主義というのはいくまでも方法であって目的ではないということでした。物事を決めていくその時にデモクラシーという方法を使うのが大切である。どんな政体であってもいい、王制であっても貴族制であってもそこに必ずデモクラシーという物事を決めるための方法が確立されているべきだというのが、吉野の政治思想の根本だと思えます。そのためにまず前提として普通選挙が行われていなければならぬ。その普通選挙でも、

個人が、外側からの強制を受けずに自分で考えて投票することが必要です。経済的な理由、夫婦間の理由とか親子間の理由とか恩師が出たから投票しなければとかそういうことは一切やめて自分が本当に考えて、この人だと思つた人に投票することがデモクラシーの始まりであると吉野はいつています。つまり自分の問題意識を代議士に反映させて、その代議士たちが国会という場で討論する。そうしてこそそこに民意がはっきり反映していく。

この吉野の考えは今も生きています。むしろ大正デモクラシーの時期より今の方がひどい政治になっているかも知れない。ですから今こそ、吉野作造が必要なのです。今こそ吉野作造を読むべき秋だと信じます。

これから吉野作造をみなさんと一緒に勉強して、その成果を一年に一ぺん、記念館で発表していきたいと思えます。

(平成十年十二月二十日の講演より抄録)

《井上ひさし略歴》

— 吉野作造記念館名誉館長 —

1934年(昭和9) 11月16日
山形県東置賜郡川西町(旧小松町)生まれ。
1960年(昭和35)
上智大学外国語学部フランス語学科卒業。
作家、劇作家。日本ペンクラブ副会長。
こまつ座座付作者。仙台文学館長。



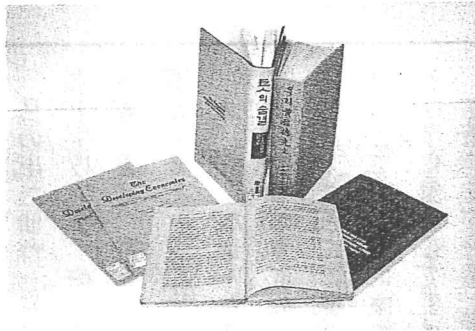
記念館資料のこと もっと教えて!

記念館にはどんな資料があるの?

記念館にあるのは、もちろん「吉野作造」に関する資料です。その内容をご紹介します。

「吉野作造」に関する資料と一口に言っても、種類は様々です。記念館ではそれらを大きく図書、書簡類、原稿類、写真、遺品、絵画、...といった具合に分類しています。

「図書」は約五千点あって、量的には記念館資料の大部分を占めています。日本語文献と外国語文献に大別され、内容、形態、時代とも多岐にわたっています。



吉野著(手前中央)および吉野研究・言及の外国語文献

「書簡類」とは手紙や葉書のことですが、吉野が出したものの、吉野が受け取ったもの、両方を集めています。

「原稿類」は、雑誌や新聞に活字となって発表されたものの原稿です。同じ「吉野の原稿」でも、吉野が自筆したものと、他人の筆記したものとがあります。これは吉野が主に、自分は口述して編集者に筆記してもらったという形で原稿を作成していたからです。

「写真」は吉野が写っているもの、他、吉野の家族や友人の写真、吉野の通った学校や教会の写真など、幅広い範囲から集めています。記念館の中では図書の次に多い資料です。

「遺品」は主に吉野のものと妻・たまのもの、食器や衣類、文房具、装飾品など、小さいものから大きいものまであります。

「絵画」は、古川出身の画家がかいた吉野の肖像画や、画家、建築家として活躍した吉野の長女・土浦信(つちうらのぶ)の作品などがあります。

これらの資料は、記念館ができる前から何年もかけて集めたものです。もちろん現在も新しい資料の収集が続いています。

記念館では「吉野作造」に関係

する資料」をますます充実させていきたいと考えています。

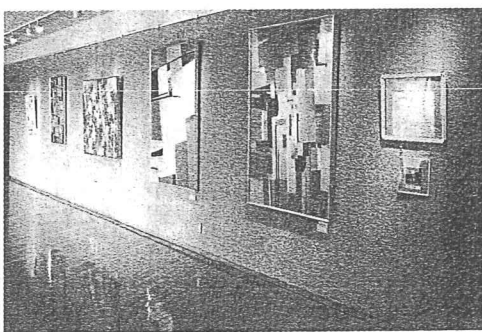
資料をみるにはどうすればいいの?

記念館資料をみるには、①常設展をみる↓②企画展をみる↓③特別利用をする という三つの方法があります。

①常設展をみてみよう

常設展には吉野のことを知る上で基本となる資料がまとめられています。常設展は、記念館へ来ればいつでもみることができます。

*常設展示室へ通じる廊下はミニギャラリーとなっています。ここでは記念館の絵画資料を楽しむことができます。



記念館の展示ギャラリー

②企画展をみてみよう

企画展では、外部からお借りした資料と、記念館の普段は資料室に保管されている資料とが

展示されます。企画展は年に数回、テーマと期間を限定して行われるものです。それぞれのテーマに即した資料が登場しますから、毎回違うものをみることができます。

③「特別利用」をしてみよう
記念館では展示し、みてもらうという方法で皆さんに資料を公開しているわけですが、平成十年四月より、それ以外の方法でも資料を公開しています。皆さんの側からすれば、展示をみる以外の形で記念館資料を利用することがあります。これが記念館資料の「特別利用」です。例えば、資料を閲覧したり、コピーしたり、その写真を撮ったりできるのです。

企画展に毎回足を運んでも、数多い記念館資料全てをみることはできません。また、展示資料はたいいていケースに入っていて、手に取ることができません。「特別利用」は、吉野についてより多くのことを学びたいという方のためのもです。

「特別利用」のこと、詳しく教えて！

右のページで紹介した記念館資料の「特別利用」について、皆さんの疑問にお答えします。

記念館資料の全てが特別利用できるわけではありません。

資料は常に劣化・破損しないよう、温度・湿度を一定にし、空気や照明にあまり触れないようにして大切に保管されています。展示するときも、劣化・破損しやすいものは、それを避けるためにレプリカを作成して展示したり、展示期間を短くしたりしています。

また、資料には著作権の問題があります。著作権とは、作者が自分の創造したものを独占的に利用できる権利です。日本には著作権法という法律があって、この著作権が期間等を定めて保護されています。ですから、執筆者や撮影者に無断で図書をコピーしたり、写真をプリントしたりすることはできません。

このような保存管理上、著作権法上の理由から、また、資料提供者と記念館側の取り決め等により、記念館にある資料全てを特別利用の対象にすることはできません。様々な条件をクリアした資料をリストアップし、記念館では『特別利用対象所蔵品目録』を作りました。特別利

用できるのは、この目録に載っている資料です。

また同様の理由で、閲覧はできるけれどもコピーはできない、といったように、目録に載っていたとしても、利用の方法によっては特別利用できない資料もあります。

現在のところ、この『特別利用対象所蔵品目録』に載っているのは図書資料のみですが、遺品や絵画など、他の資料についても個々の条件を確認の上、順次追加していく予定です。

特別利用の手続きは？

まず『特別利用対象所蔵品目録』で、特別利用したい資料を探します。この目録は常に受付カウンターに置いてあります。

次に、受付で記念館資料の「特別利用許可申請書」に必要事項を記入して提出し、「特別利用許可通知書」の交付を受けます。申請書の記入例は左のとおりです。

許可内容を確認し、係員の指示に従って資料を利用します。

- ・コピーを希望するときは、一枚につき十円の費用がかかります。
- ・資料の貸し出しはできません。館内での利用になります。
- ・資料はどれも、吉野の思想を後世に伝えていく貴重なものですから、大切に扱って下さい。

特別利用を開始した平成十年四月一日から、平成十一年一月三十一日までの間に十八件の利用がありました。

皆さんも、『特別利用対象所蔵品目録』を眺めてみて、おもしろそうな資料をみつけたら、ぜひ「特別利用」をして下さい。

吉野作造記念館資料特別利用許可申請書

平成 11 年 3 月 1 日

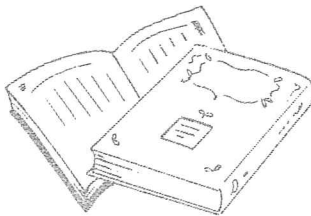
古川市教育委員会教育長 様

申請者 住所 古川市七日町 1-1
 団体名
 氏名 古川 俊一 (印)
 (電話番号 23-2111)

下記のとおり資料を特別利用したいので許可されるよう申請します。
 記

利用目的	吉野作造の研究。		
利用方法	撮影・(複写)・その他()		
利用期間	平成 11 年 3 月 1 日 から 平成 年 月 日 まで		
利用資料	資料番号	資料名	備考
	01シ 0002	主張と開談第4輯 公人の落款	P19~P30 7枚

申請書記入例



お知らせ2

「吉野作造・声のライブラリー」 開設を計画しています！

記念館では、目の不自由な方にも吉野の著作に触れていただきたいと考え、吉野の著作を朗読・録音したテープを貸し出そうと計画しています。もちろん一般の皆さんにもお貸ししますので、特に活字の苦手な方は、この「耳で聴く資料」にご期待下さい。
 平成11年5月より、貸し出し開始の予定です。

お知らせ1

図書目録が完成しました！

記念館では集めた資料を分類し、種類ごとに目録の作成を行っています。平成11年1月に、図書の目録が完成しました。
 館内で自由にご覧いただけます。記念館にどんな図書資料があるのか興味ある方は、ぜひご来館下さい。

小学校の教科書にも出てくる「吉野作造」。でも実際に吉野作造について習ったという記憶を持つ人は少ないようです。そんな中記念館を学区内とする古川第二小学校の六年生は今年度、吉野作造の学習に記念館を大いに活用しました。ここでその成果をご紹介します。

十一月下旬、十二月上旬、記念館に、古川第二小学校の六年生がクラス毎に見学に来ました。事前に教科書で吉野作造の時代を学習し、その後当館から職員が小学校に向いて二クラスずつにわけて吉野作造の生涯を一

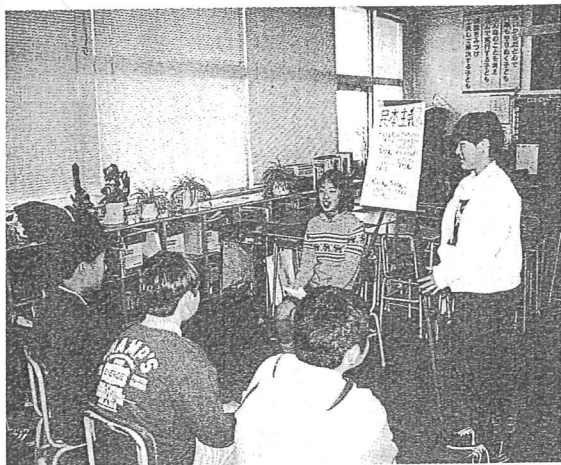
時間ほど説明し、そしてそれをもとに一人一人が課題を持って見学に来たようです。

中でも六年四組では、吉野作造を通して大正時代の様子やその頃の日本国内や古川の様子を知るとともに、さらには子供たちが自分の考えを表現できるような計画を立てていました。

まず鎖国をしたために欧米諸国から遅れをとった「日本がどのようにして世界に認められるまでになったのか」というテーマのもと、吉野作造という人物に焦点をあて、その業績や生き方を学ぶことで時代の人々の様子や考えを知る、という流れを先生が計画しました。

そしてテーマごとにグループを作って記念館へ来観。この時吉野作造と友人だった我妻寿三郎氏の娘にあたる我妻正子さんに古川の昔のことなどをお話して頂きました。

これらの体験をもとにグループで発表資料や原稿を作成しました。先生によれば、最初理解が難しいだろうと考えていた「民本主義」



古川第二小学校での発表会（6年4組）

を、「これがわからないとだめだから」と言って子供たちが自ら進んで取り上げようとしたり、発表会に向け紙で人形をつくるグループもあり、みな熱心に準備していたということ。政治のことは難しいという大人たちの考えは先入観に過ぎなかったようです。

授業参観日に教室の内外で発表会を開き、これは大好評だったようです。その後、子供達一人一人が吉野作造にあてて手紙を書きました。そのなかからいくつか紹介しましょう。

「吉野作造さんへ」

渡辺 仁也

ぼくは吉野作造さんはずいぶんだと思えます。なぜなら小学

校のころからすぐ頭がいいからです。体育とかはだめでもすごい頭のよさでだれもが入りたがっていた中学校に入るなんてすごいと思いました。特にとくいな科目は国語だそうですね。ぼくは国語の作文が大のにながてです。

今ではだれでも中学校に入れます。しかも吉野作造さんは、今より二年間も長く通いました。かなり頭がよかつたんだと思います。

しかも高校にも入れる頭のよさはとうていぼくにはありません。キリスト教にも入りだれもが尊敬する人だと思えます。ざんねんながら五十五才でなくなつてしまつたのですが、だれもが尊敬する人です。古川の宝みたいなのが五十五才でなくなつてしまつたのはざんねんです。ぼくも吉野作造さんをすごく尊敬しています。

「吉野作造さんへ」

佃 結希

吉野作造さん、私達六年生は今、社会の勉強で、あなたのことを調べています。今までは、「古川出身の有名人」ぐらいにしか吉野さんのことを知りませんでした。ごめんなさい。だけど、この間、吉野作造記念館に見学に行つたりして、吉野さんがどんなことをした人なのか知

ることができました。吉野さんは、誰でも差別的のない、みんなが楽しく暮らせるような日本をつくりたかつたんですね。今、日本は吉野さんの望んだように、民主主義の政治が行われていますよ。今の日本があるのは、吉野さんのおかげなんだ、ということを知ることができました。

吉野さんは、誰でも差別的のない、みんなが楽しく暮らせるような日本をつくりたかつたんですね。今、日本は吉野さんの望んだように、民主主義の政治が行われていますよ。今の日本があるのは、吉野さんのおかげなんだ、ということを知ることができました。

吉野さんは、どんなことがあつてもみんなのことを考える人だつたそうですね。吉野さんのことを、もつともつとたくさんの人に知つてもらえたらいいと思います。

「吉野作造さんへ」

晴左久将紀

作造さんはどうして本ばかり読んでいたんですか。あまり強くない体だつたのはわかるけど、ぼくだつたらいろいろな事をします。テニスだけではなく、野球などいろいろなスポーツをやつたほうがいいと思つた。ぼくはこの前吉野作造記念館に行つてきました。そこでぼくは「どうして蔵にまでこもつて本を読むんだ」ととてもふしぎに思いました。あと話を聞いて体育以外はなんでもとくいなんだからすごいなあと思つきました。最後のほうにあと十五年生きていたらすごいゆうめい人になつていたらということを知りました。

作造さんはどうして本ばかり読んでいたんですか。あまり強くない体だつたのはわかるけど、ぼくだつたらいろいろな事をします。テニスだけではなく、野球などいろいろなスポーツをやつたほうがいいと思つた。ぼくはこの前吉野作造記念館に行つてきました。そこでぼくは「どうして蔵にまでこもつて本を読むんだ」ととてもふしぎに思いました。あと話を聞いて体育以外はなんでもとくいなんだからすごいなあと思つきました。最後のほうにあと十五年生きていたらすごいゆうめい人になつていたらということを知りました。

「吉野作造さんへ」

森田 賢

作造さん、なぜあと十五年生きれなかったのですか。あと十五年生きていれば日本でゆめいな人になっていたのに。

話は変わりますが、ぼくは何年か前に、吉野作造記念館に行つたけど、ぜんぜん作造さんがどんな考えをもっていたと分かりません。でも今日は記念館に見学に行つて、多くのテーマの作造さんが生きていたころの日本の様子のことがよく分かりました。それから発表会もして作造さんが子供のころのことや、どんな考えをもっていたかなどが分かりました。作造さんってすごい人なんだと思いました。

古川高校では一年生を対象に記念館見学を始めて、今年で三回目になります。今回も記念館の見学後のレポートから二作品を紹介します。

記念館を訪ねて

一年 相沢 友博

私が吉野作造について知っていたのは、その名前と大正デモクラシーに関係した人物程度のものでした。今回の記念館見学は、その人生を深く知ることができたと思っています。彼の学業は入学する学校で常に首席、東京帝国大学でも首席であったことは特筆すべきことと感じました。

なぜ彼はそれ程にまで勉強を取り組んだのでしょうか。吉野は自分が世の中を変え、社会に真つ正面からぶつかつて国民に多くの理解を求めようとしたからではないでしょうか。吉野は教授として学生にもその思想を展開し、多くの支持を得たのです。またそれだけではなく、欧米に渡航し、欧米の生きた政治に触れて、帰国後には、日本の実情を汲んだ上で「民本主義」を主張したのです。

記念館に行つて

一年 桑田 久平

ぼくは、自分と同じ古川市で生まれた吉野作造という人物について民本主義を主張した、歴史の人物の一人としか思いませんでした。

しかし、この吉野作造記念館に行つて吉野という人物を身近に感じ、また多くの知識を得ることができました。

吉野が民本主義を主張した理由は、日本の政治の在り方が欧米に比べあまりにも後れていることを憂い、天皇制を認めた上で国民が中心となつて、自分たちの幸せを目指すための主張でした。この主張をするにあつた吉野の気持ちはどうだったのだろうか。自分が思うには多分、吉野は小さい頃から好きだった本や芝居などでイメージを豊かにし、教授時代に困つた人の相談を聞いたりと多くの人と接したことから他人を思う気持ち、そのためにはどうすべきかを考え、それを一つ一つ解決していった吉野にとつては、すでにこの主張によつてこれからの未来が変わることを頭の中でイメージしていたような気がします。

このことから吉野作造は、自分を犠牲にしてまでも社会のため、人のため、これからの未来のために役立つと努力したすばらしい人であると感じるので

また、家族、両親、多くの友達との出会いなどは吉野作造の生きていく支えになっているということが、彼の生涯から感じられます。

古川市が生んだ、吉野作造を身近なものとして学習する機会を得たことは大きな感動です。自分はこれから、どのような道を歩んでいくのかは、これからの自分の努力の成果ですが、吉野作造のように、ほんの少しの小さな事でも社会のため、仲間のため、自分自身の未来のために役に立つてみたいと思いました。

吉野作造という人物は自分に何かを語りかけているような気がしました。

吉野作造と 古高創立期の 人びと

一、はじめに

一九九七年（平成九）、創立百周年を祝い宮城県古川高等学校（以下、旧古中・古高と略す）はその間幾多の学制改革を経ながら「質実剛健」「文武両道」の古高魂を培ってきた。吉野作造（以下作造と略）との関わりで、ここに登場する創立期の人々は、いかなる人生を歩んだのだろうか。

二、鈴木文治と早坂奥郎

作造との関係で特筆すべき人物は、わが国初の労働組合「友愛会」の創設者、「日本労働総同盟」会長の鈴木文治（一八七五～一九四六）である。

文治は、岩ヶ崎高等小学校を卒業し、開校したばかりの宮城県尋常中学校志田郡立分校に一二〇名の新入生達にまじって入学した。一九〇二年（明治三五）

三月無事卒業できたのは、わずかに三〇名にすぎなかった。文治の生家は、金成村の造り酒屋

古中時代は羽振りよく、文治は古川在、稲葉の四歳年上の同級生、佐藤長太郎の家に預けられて古中に通い、土曜日の午後や夏休みには、金成の家から人力車や馬で送り迎えされていた。

この佐藤家に、すでに旧制二高生となっていた作造の友人の小学校教師がいた。時折、作造がこの友人を訪ねて、談笑している姿を文治は、傍らで「驚歎の情をもつて謹聴」していたのだ。これが機縁となって、作造と文治は、終生親密な交遊を続けることになる。

文治が旧制山口高校に入学する頃家業は傾き、学資の仕送りも困難になると、作造は文治の為に月額八円の奨学金がもらえるように世話した。作造の文治に対する心底からの厚意は、作造の七歳も下の文治が、キリス

ト者としては三年先輩に当たっているという、作造の賛嘆の気持ちからだ。文治は一八九五年（明治二八）金成のハリストス正教会において受洗している。文治が古中四年の夏休み、栗原基の大学卒業を記念して、作造が企画実施した、古川三日町瑞川寺での演説会では、文治が司会役を務めている。

また一九一八年（大正七）末の浪人会と作造との立会演説会で、文治は会場内外の連絡係と、聴衆の整理係を行っていた。

文治の著書『労働運動二十年』（一九三一年刊）に序文を寄せた作造は、楽天的素質と毀誉褒貶を超越している点をあげ「今日の鈴木君は依然として、三十年前の文ちゃんに外ならない」と揚言している。

佐藤長太郎は、のちに東京帝国大学工学部土木科を出て九州水力電気株式会社の重役になった。

文治と同級の早坂奥郎（一八八四～一九一七）は、古高の名物先生数学科の早坂崇先生の父である。奥郎は、東京帝国大学法学部卒業後裁判官となった。司法官候補を命ぜられて浦和裁判所に赴任する際、作造の許を訪ねているほどの間柄である。シルクハットを愛用し、瀬戸物の重ね弁当を愛用する粋な判事であった。

三、二回生 守屋栄夫

守屋栄夫（一八八四～一九七三）は富永村出身。旧制二高から東京帝国大学独法科を出て、内務省に就職。二五年には、文治と共に「第七回国際労働会議」に、日本政府代表としてジュネーブへ。二八年の第一回普通選挙から、衆議院連続六期当選。のち塩釜市長。

栄夫は一九〇九年（明治四二）六月、作造の三女光子四歳の誕生日に、家を訪ねている。内務官僚として、作造の社会事業や朝鮮留学生の援助を、側面から支援した。

歌人でもあった栄夫は、作造の「一生に大影響を与へし人」内ヶ崎作三郎の胸像除幕式（一九五六年九月）に臨み「胸ぬちに高き理想を秘めしまま逝きかへらぬ君をしぞ思う」等一五首を奉呈した。

四、五回生 吉野信次と 亀谷徳兵衛

作造の一〇歳下の弟信次（一八八八～一九七二）は、旧制一高、東京帝国大学法科を経て商工官僚となり、一九三七年（昭和一二）商工大臣、五五年には運輸大臣に就任した。商工大臣就任祝賀の提灯行列には、古川在住の古中生が参加した。現在

校長室には、信次揮毫になる「惇信明義」の扁額が掲げられている。因みに信次の妻君代は、作造の妻たまのの妹である。

三十年になる「古高育英会」は、亀谷徳兵衛が、母校に寄付した二十万円を基金にして設立した奨学金制度で、生徒会活動の顕著な生徒に支給されている。東京帝大法科を出た亀谷の名は、作造の日記に十数回登場し、二人でよくテニスに興じている。一九一五年（大正四）五月には作造に子猫をあげている。

五、九回生 佐々木忠右衛門

東京帝国大学法科を卒業した佐々木（一八九二～一九五二）は一九一八年（大正七）日朝鮮本部副総長に就任。一九二二年（大正一一）四月七日夜には、忠右衛門は突然作造宅を訪れ「朝鮮統治の心得など懇ろに話」した。戦後の初代古高同窓会長。

六、おわりに

吉野作造と古川高校―あまり関係がないように見えて、実は人間関係のベースでつながっていた。作造の交友関係の幅と信実の故である。

（横山 寛勝）

企画展にちなんで 吉野作造と 建築

吉野作造と建築との関係は、東京帝国大学の学生キリスト教青年会と大きな関わりをもっている。吉野作造と交流した建築家は二人いる。遠藤新と土浦亀城で、二人とも日本にも関わりの深い世界的建築家フランク・ロイド・ライトの弟子で、東京帝国大学のキリスト教青年会に所属していた。

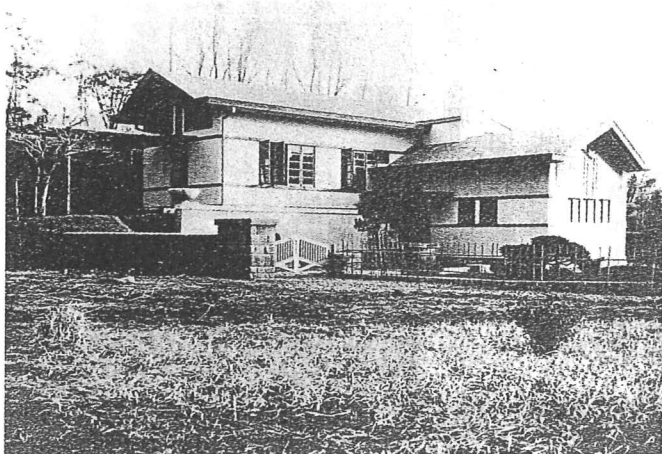
吉野は東京帝国大学の学生キリスト教青年会の理事長を一九一七年（大正六）より亡くなるまで務めた。ちょうどこの時期青年会に集った学生たちはキリスト教精神をもとに活発な社会活動を展開し始め、青年会事業として法律相談所、家庭購買組

合、賛育会病院などを設立した。吉野は資金のやり繰りから理事長就任まで、陰に陽に事業を支えた。立役者となった藤田逸男、河田茂、星島二郎等と同世代で交友関係を結んでいた遠藤新は、キリスト教青年会の会館を始めこれらの事業に関する建築設計を行っている。遠藤はライトの愛弟子で帝国ホテルの主任助手を務め、生涯ライトを師として活動した。

一九二〇年（大正九）吉野は遠藤に自宅書齋の設計を頼んでいる。吉野の日記によれば一月九日に遠藤を訪れ、さらに二十二日帝国ホテル建築事務所に大工の鴨野石五郎とともに遠藤を

訪れて「西洋間の設計の講釈」を聞いている。二月一日には食事をおごっているから、依頼することに決定したのだろう。八月二十四日に「書齋も段々出来上がりて気持よし」と、書齋の出来上がり満足を表している。この書齋を吉野は気に入っていた。書齋の各所で撮影した写真三枚を組み合わせて葉書を作成し、知人への通信に使用したり、書齋で肖像写真を撮影しているからである。

遠藤との関係から土浦亀城も吉野家と関わることとなった。吉野は週一回自宅開放日を設け、その日は学生やお客が自由に吉野宅に訪れることが出来た。この日に遠藤新ら青年会の学生たちも面会に訪れており、八歳年下の土浦亀城も建築学科の先輩である遠藤に連れられてやって来た。その時期は明らかでないが、一九二一年（大正十）九月には吉野家の長女信と結婚しているからそれ以前であろう。信の回想によれば、伊豆畑毛温泉「学土村」に測量の手伝いに来ていた亀城と意気投合したのが最初のことだ。吉野が知人たちと構想していた「理想郷」建



伊豆畑毛の吉野の別荘（土浦亀城設計）

設にも土裏が関わって来たことがわかる。結婚した土浦夫妻は二年一月より翌年四月まで吉野家に同居した。この間伊豆畑毛温泉の吉野別荘から弟で商工官僚の吉野信次の自邸の設計まで、土浦は吉野家の建築に関わった。

二二年一〇月に完成した畑毛温泉の別荘について「土浦の熱心なる努力に依り甚だ気持「よく」出来る」と吉野は日記で喜びを記している。この別荘は平屋建てで和室と食堂兼居間からなり、外見はライトの影響を強く受けていた。

吉野自身が建築と多少なりとも関わったといえるのは作家有島武郎や経済学者森本厚吉らとおこした文化生活研究会においてだろう。研究会は財団法人文化普及会に発展、模範的住宅の実験的試みとしてお茶の水に文化アパートメントを建設した。これは森本が理想とする合理的で経済的かつ文化的な生活を体现するものであった。森本と吉野、そして土浦夫妻もこのアパートに住んだ。

吉野は同年五月、建築学会通常大会で講演を行っている。こ



遠藤新設計の書齋にて

の時のテーマは「建築と文化生活」。しかし吉野は「石工組合の話」と題して、宗教的秘密結社フリーメーソンの紹介に終始した。結局吉野が建築について公に考えを述べることはなかった。しかし、キリスト教や血縁などを通じ、建築家たちと交流していた。

御厨貴氏講演会

記録集近々完成

吉野講座第三回講師

御厨 貴氏

「吉野作造と馬場恒香」

希望者に無料配布します。

（田沢 晴子）

新見資料紹介

栗原基あて書簡

大正六年一月五日付

栗原健氏寄贈

表 京都市外下鴨北浦 栗原基様 親展
裏 東京帝国大学法科大学 吉野作造 (印刷)
東京市本郷区千駄木町五十一番地 吉野作造 (ハンコ)
大正六年一月五日

前略突然ながく申上候。昨夜海老名先生より貴兄先般嶺岸某氏を伴ひ原田助氏を訪すれ南洋占領地に於ける日本人の暴状を訴られ候よし承候。此件二就而は兼々小生も考居候事有之具體的材料を得バ当局者に警告を加ふるの手蔓も有之候二付若し右嶺岸氏より直接御話承るの便宜有之候はゞ御紹介被成下まじく候や。偏二奉願候。又御書留候ものでも有之候はゞ拝借仕度是亦御願申上候。取急ぎ右申上候。勿々

一月五日 吉野作造
栗原教兄

この書簡は一九一四年(大正三)第一次世界大戦の際日本が占領した南洋諸島において、日本人が「暴状」を働いていることを知った吉野が、「当局者」に警告を与えるべく、栗原に知人の紹介等を依頼したものだ。実際『中央公論』にこの内容の論説はみあたらないが、当局に筆誅を加えようとする意気盛んな様子が読み取れる。



前略突然ながく申上候。昨夜海老名先生より貴兄先般嶺岸某氏を伴ひ原田助氏を訪すれ南洋占領地に於ける日本人の暴状を訴られ候よし承候。此件二就而は兼々小生も考居候事有之具體的材料を得バ当局者に警告を加ふるの手蔓も有之候二付若し右嶺岸氏より直接御話承るの便宜有之候はゞ御紹介被成下まじく候や。偏二奉願候。又御書留候ものでも有之候はゞ拝借仕度是亦御願申上候。取急ぎ右申上候。勿々

一九九八年 吉野作造関係寄贈資料一覽

(寄贈資料名(書籍関係))

- 東京大学創立一〇〇周年記念 東京大学展
A I g e m e i n e S t a a t s l e h r e
- 公権論 安部磯雄 第三卷六册合本
- 日本社会主義の父 明治外史の一節 Y O S H I N O S A K U Z O
- 朝日講義集特別刊行 政界革新論集
- 吉野作造と朝鮮・再考 第三二二号 (抜刷)
- 近きに在りて 第三二二号 (抜刷)
- 現代主義と帝國主義 極東の外交
- 現代叢書 現代米國
- 近きに在りて 第三二二号
- 木学舎だより 創刊号・第二号
- 婦人公論 大正七年一月号
- アサヒクラブ 第二九号 (複写)
- 歴史地理教育 No.五七六 (複写)
- 栗原基主幹「黎明」と栗原の二高の友人たち
思いの父 栗原基
- 革命家 孫文
- 劇画家 日本国憲法の誕生
- 河合栄治郎研究
- 菲山町史 第十二卷
- 婦人之友 一九九八年六月号 (複写)
- 「私の出会った芸術家たち久保貞次郎」 (複写)
- 遠藤新誕生一〇〇年記念「人間・美術の世界」 (複写)
- 文化福島 二五号 (一九九三年二月号)
- A s s i s t N e w s No.一七
- 「本のひろば」第四七九号
- 「時評家 野晶子と周辺の人びと」
- 「ARCHEITECT」第一二〇号
- 「堀達之助研究ノート(その一五)―補遺篇―」
「現存の『英和對譯袖珍辭書』初版一五本について
調査にもとづく文化史的考察」
- 大川周明関係文書 No.一 No.二七
- 群山 第五三卷九・一〇号
- 雪兔 第五三卷一二号
- 群山 第五三卷一二号
- 統 蘇峰とその時代
- 鉄幹と晶子 第四号
- 清滝の郷土史
- (寄贈資料名(関係資料))
- 吉野作造書簡 上田貞次郎あて (複写)
- メダル一九七八(吉野博士誕生一〇〇年記念)
- 鈴木安蔵旧蔵 吉野作造関係資料
- 三浦吉兵衛関係資料
- 吉野作造書簡 石川三四郎あて (複写)
- 三鹿白栗山吉
浦島幡原口野
よ理俊
子智規健晃造
- 水高
野野
静
洋子
- 扇 川 二 郎
- 大 川 二 郎
- 堀 西 山 香 太 佐
澤 本 内 藤 雅 三
孝 泰 鎮 信 雅 三
彦 彦 雄 子 夫 郎
- 目 黒 美 津 英
- 遠 藤 藤 田 義 智 勝
- 河合栄治郎研究会
藤田町史刊行委員会
- 鹿 下 島 義 智 勝
- 栗 原 汪 恭 健
- 永 澤 汪 恭 健
- 渡 邊 慎 也
- 山 野 口 澤 慎 也
- 菅 原 一 也
- 松 本 尾 郷 尊 隆 允 盛
- 柴 田 紳 一
- 佐 藤 野 立 夫 造